

令和元年11月1日

報道機関 各位

## 「ぬいぐるみ病院」開催について

富山大学人間発達科学部附属幼稚園では、大学附属の特性を生かした保育活動を行っております。このたび、下記のとおり、富山大学医学科、看護学科と連携し「ぬいぐるみ病院」を行いますので、ご案内いたします。

つきましては、取材・報道方よりしくお取り計らい願います。

### 記

1. 日時 令和元年11月12日(火) 9時20分～9時40分 保健指導  
9時55分～11時 問診ロールプレイング
2. 場所 富山大学人間発達科学部附属幼稚園 遊戯室
3. 実施目的
  - ・保健指導や本物の医療器具を使った問診ロールプレイを通して、園児が「医療に対する恐怖心を軽減し、親しみをもつ」「自分の身体や健康について関心をもつ」と共に、患者(ぬいぐるみ)へのいたわりの心を養うことができる。(園児)
  - ・医学部、薬学部の学生の研修の場として、学生が子供たちへの関わり方や、子供たちの病気・健康に関する見方・感じ方・考え方を学ぶことができる。(学生)
4. 実施内容 保健指導、ぬいぐるみの問診ロールプレイング
5. 参加者 保健指導：全園児90名、ロールプレイング：年長児35名+保護者  
富山大学国際医療研究会、小児科訪問サークル青い鳥

ドイツ発祥である「ぬいぐるみ病院」は現在、約30の国と地域でTeddy bear hospitalの名称で親しまれています。

日本では、糖尿病や高血圧に起因する病気など「生活習慣病」といわれる病気が社会問題となってきたこと、医療現場において子どもからのインフォームドコンセントを得ることが非常に困難な状況にあること、子どもの医療に対する恐怖心がスムーズな医療を妨げる要因のひとつであること、医療従事者自身が病気や医療に対する子どもの理解や考えを学ぶ機会が十分でないことなどを受け、2003年から導入されました。

### 【本件に関する問い合わせ先】

富山大学人間発達科学部附属幼稚園

TEL. 076-445-2812

担当：城岡(副園長)